

# 平成 30 年度「霞ヶ浦湖岸植物同好会」活動の計画

当同好会は、環境学習推進活動の一環としてセンター主催の「自然観察会(植物)」に於ける運営補助及びセンター「いきもののにわ」の整備、観察の補助活動と“パートナーの自主企画活動”としての「湖岸植物定点観察」を行う。

**自然観察会(植物)**は霞ヶ浦流域内の植物観察を通して霞ヶ浦の水質浄化に関心を深めてもらう目的で、年4回 特定月の原則第3土曜日に実施される。

**湖岸植物定点観察**はセンター下の湖岸(下図)において、環境の変化が植物相に及ぼす影響を見るため原則毎月第2水曜日に実施する。湖岸の代表種、絶滅危惧種、特定外来生物などは指定種として年間を通して継続観察する。またその他の植物についても特徴のある花・実・冬芽などを適時に観察・記録する。毎月観察の概要と共に旬の植物写真に説明を付け、2階展示コーナーに掲示する。



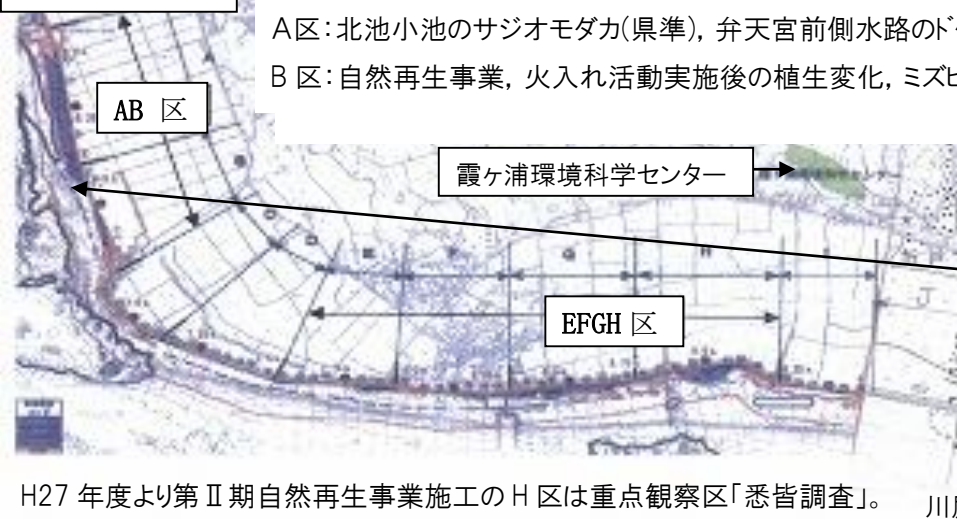
自然観察会に於ける運営補助活動 (H29-6-24)「潤沼自然公園」

**定点観察位置図**

**地区(班)別定点観察活動の概要と重点観察種**

A区:北池小池のサジオモダカ(県準), 弁天宮前側水路のドクセリ(日本三大毒草), タヌキモ(準)。他  
B区:自然再生事業, 火入れ活動実施後の植生変化, ミズヒマワリ(特外)の増殖状況等。

浮遊性食虫植物のタヌキモ



H27 年度より第Ⅱ期自然再生事業施工のH区は重点観察区「悉皆調査」。川尻川  
H区:ヤナギトラノオ(県Ⅱ),ミクリ(準・県準)等の生育状況を観察。区域全体で環境変化に伴う新出種等の調査実施。

EFG区:サンショウモ(Ⅱ・県ⅠB), ウルシ(準・県準),セイタカヨシ(県準),ジョウロウスゲ(Ⅱ類, 県準) 他

KL区:アサマスケ(準・県ⅠB), タンキリマメ(県Ⅱ), オオフサモ(特外) 他

**湖岸植物定点観察**

(略)Ⅱ,準:環境省絶滅危惧Ⅱ類, 準絶滅危惧種, 特外:特定外来生物種  
県準,県ⅠB,Ⅱ類:茨城県準絶滅危惧種, 絶滅危惧ⅠB,Ⅱ類

(日程) 9:00 集合(冬季は 9:30)・準備(記録用紙,カメラ,巻尺他)

9:30~12:00 湖岸植物現地観察(全員) 12:15~12:45 昼食

A・B, E・F・G, K・L区:重点, H区:悉皆 12:45~13:15 記録確認

13:15~15:00 記録整理

**自然観察会(植物)の予定**

月-日	テーマ	場所
(5—12)	春の平地林の植物生態系	
(8—4)	霞ヶ浦周辺に生育するハスの生活	
(9—1)	霞ヶ浦の植物とその生態	未定
(10—13)	秋の平地林の植物生態系	

**センター「いきもののにわ」整備の予定**

毎月第3水曜日 10:00~11:30
作業内容:草取り・清掃, 植物の植え付け・間引き, コンテナ等の整理。

活動月-日	関連活動
H30-4-11	春季
5-9	〃
6-13	夏季
7-11	〃
8-8	〃
9-12	秋季
10-10	〃
11-14	〃
12-12	冬季
H31-1-9	〃
2-13	〃
3-13	春季
3-27	同好会打合せ会 30年度反省 31年度計画

(パートナー 有吉)